

# 鳥取まちなかぶらりマップ



明治12年 三階櫓



画像提供：鳥取市教育委員会

0 150 300 450m

● 近・現代の名所  
● 戦国時代・江戸時代からの名所



## 「鳥取」地名の由来

『日本書紀』垂仁二十三年紀 ホムツツケ皇子 鶺(くぐひ) 鳥取部を定めたまふ、とある。  
『和名(わみやう)類聚抄(るいじゆしやう)』(平安時代中期に編纂)に、「鳥取」地名が全国に何箇所も載る。「因幡国」では、七郡の中の「邑美郡」の五郷の一つとして「鳥取」が載る。  
中世では、「とつとり山」(現在の久松山)の名に使われている。

## 城下町の整備の推移

- ◎鳥取市街地は元来、「沼沢地にして城郭市井を置くべき天然の地にてはあらざりし」といわれ水害多発地帯だった。
- ◎池田長吉(6万石) 薬研(やげん)堀を外堀として城下を整備。
- ◎池田光政(32万石) 手狭として、城下を拡充。薬研堀を中堀、現在の袋川を人工的に開削し外堀とした。

## 近代の鳥取市

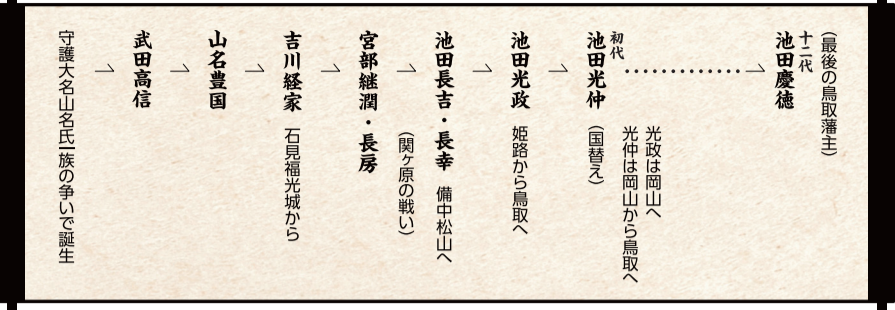
人口 約3万3千人(寛延2年(1749)) (士族2万人、町民1万3千人)

- 明治14年(1881) 鳥取県再置
- 明治22年(1889) 市制施行(約2万8千人)
- 明治29年(1896) 鳥取四十連隊設置
- 明治40年(1907) 皇太子行啓、仁風閣 電燈ともる、鳥取駅(仮駅)
- 明治45年(1912) 山陰線全通
- 大正7年(1918) 千代川氾濫による大洪水(前後にもあり)
- 昭和18年(1943) 鳥取大震災
- 昭和27年(1952) 鳥取大火

## 近・現代の名所 戦国時代・江戸時代からの名所

- 久松山**
- 鳥取城跡**
  - 宝隆院庭園** 池泉回遊式の日本庭園。先代慶栄(よしとか)の妻・宝隆院を慰めるために池田慶徳が作った。
  - 仁風閣** 片山東熊設計、フレンチ・ルネッサンス様式の白亜の洋館。国重要文化財。「るろうに剣心」のロケ地。
  - 天球丸・巻石垣** 1807年頃に天球丸の石垣崩落を防止することを目的に築き足された球面石垣。
  - 吉川経家像** 秀吉と戦った鳥取城主吉川経家は、兵糧攻めに。部下や住民の助命と引き換えに、自らの命を絶った「鳥取市民の命の恩人」。
  - 鳥取城大手門** 「中ノ御門表門」という。元和7年(1621)に池田光政によって創建。2021年3月復元工事竣工。
  - 擬宝珠橋** 城郭復元木造橋としては、日本最長。堀底に残る橋脚遺構を保護しつつ、特殊なステンレス製水中梁を設置する、日本初の工法を採用。2018年9月復元工事竣工。
  - 桜の開花標本木** 桜の開花標本木が宝珠橋の近くにある。
- 興禅寺** 鳥取藩主池田家の菩提寺として開創。境内には剣豪・渡辺数馬や臼井本覚の墓、俳人尾崎放哉の句碑もある。桃山時代の様式を受け継いだ江戸初期の庭園も見どころ。
- 旧岡崎邸** 藩主岡崎平内(5代目)が天保6年(1835)に建築した武家屋敷。7代目平内は鳥取県再置に尽力、初代鳥取市長、衆議院議員(第一回)。日本最初の女性弁護士中田正子が戦後居住。
- 鳥取東照宮** 1650年、鳥取藩初代藩主池田光仲(家康の曾孫)によって日光東照宮を勧請して創建された。主要建造物は国重要文化財。
- 芳心寺** 藩祖光仲の国替えに伴い、現在地へ。光仲の正室茶々姫(芳心院、家康の孫)の菩提寺。正徳3年(1713)に寺号を「芳心寺」に改称。
- 梅の開花標本木** 梅の開花標本木が禰谷公園にある。
- 禰谷公園** 江戸時代に、別当寺の大雲院があった。明治になって鳥取招魂社(のち護国神社)が建立された。
- やまびこ館** 鳥取の歴史・文化が分かる、鳥取市歴史博物館。昔と今の常設展示、特別展の開催もある。
- 禰谷グランドアパート** 鳥取市文化財。昭和5年建築の洋館。和洋折衷の住宅と進駐軍宿舎が融合した建物。
- 観音院** 国名勝の池泉鑑賞式庭園。亀島、鶴島、滝の石組など元禄時代のままに配置されており、四季折々の表情が楽しめる。佐渡ヶ嶽初五郎(1774～1824)の墓あり。
- 広徳寺** 池田輝政が父恒興と兄元助の菩提を弔うため開いた。藩祖光仲の国替えに随行。鎌倉十七の墓(力士としては日本最古)あり。
- 郡境** 鳥取城下邑美(おうみ)郡と法美郡(立川村)との郡境。
- 大雲院** 鳥取東照宮の別当寺として1650年光仲が建立。明治になって現在地に。移築された大師堂に歴代将軍の位牌が安置。西国三十三札所。最後の藩主池田慶徳の墓がある。
- 「ふるさと」歌碑** 岡野貞一(名誉市民)が作曲した文部省唱歌。1973年に建立。隣にメロディーボックスがある。
- 原爆青桐** 広島原爆で残った青桐の種から育った木が植えられている。
- わらべ館** 童謡・唱歌とおもちゃがテーマの体験型ミュージアム。鳥取県の代表的な音楽家、田村虎蔵、永井幸次、岡野貞一を紹介。
- 碧川かた顕彰碑** 明治2年鳥取生、「赤とんぼ」を作詞した三木露風の母。禁酒・婦人参政権運動に尽力。
- 尾崎放哉の碑林** 自由律俳句の実作者として先駆をした尾崎放哉。己の人生と格闘して生まれた数々の名句を生誕130年を記念して市内各地に建碑。

## 鳥取城主の変遷



- 古田貞の碑** 明治2年生、明治33年女子裁縫塾を開き、現在の鳥取敬愛高校に繋がる。名誉市民。
- 新蔵通り** 年貢を納める城下の蔵所があった。
- 追廻し通り** 乗馬の訓練場があった。
- 石碑「尚徳館記」** 藩校尚徳館があった場所。最後の鳥取藩主池田慶徳により建立。「君臣の依るべき道は文武二道」と記す。
- 箕浦家武家門** 堀端にあった二千石の藩士の武家屋敷門。唯一現存。大阪の素封家・広岡松三郎が寄贈。
- 岸本辰雄胸像** 明治大学の創設者。明治新政府の貢進生に選抜。パリ大学に留学。法律博士。
- 城下町とっとり交流館 高砂屋** 明治時代の形が今に残る商家の建物。国登録有形文化財。県内の民芸品、和紙、焼物などを販売。放哉蔵あり。
- 高砂屋池内** 光仲の国替えに伴い、岡山から移住し1632年に開業した老舗の商家。
- 焼け残った土蔵** 鳥取大火の中で焼け残った。
- 大村薬局** 光仲の国替えにより、岡山から鳥取へ。1632年創業の薬局。
- 水害記録プレート(産業会館内・本通りバス停)**
- ちむら 元魚町本店** 池田公が質素・倹約を推奨し「とうふちくわ」が誕生。慶応元年初代千村清次郎の創業。
- 谷口ジロー一家付近** ヨーロッパで最も人気があった漫画家。フランス芸術文化勲章「シュヴァリエ」受勲。「父の唇」、「孤独のグルメ」、「坊ちゃん」の時代。
- 稲村三伯生誕の地** 蘭学の発展に大きく貢献した医師・蘭学者(1758～1811)。日本最初の蘭和辞典「ハルマ和解」完成。顕彰碑がほかに二箇所ある。
- 水準点** 遷喬小学校グラウンド横に設置。「日本水準原点」は?
- 五臓園ビル** 鳥取大震災・鳥取大火にも耐えた、現存する鳥取市内最古の鉄筋コンクリート建築物。「五臓園薬局」が入る。
- 川端銀座** 大正・昭和の時代、市内の映画館が集中し、にぎわった通り。
- 花見橋** 桜の名所。赤く塗られたデザインの由来は?
- 荒木神社** 日本三大仇討ち伊賀上野鍵屋の辻で本懐を遂げた、荒木又右衛門を祀る。屋敷跡に建立。勝負の神様。
- 若桜橋** 鳥取大火復興のシンボル。「不死鳥のように舞い上がれ」と願った、山本兼作のモニュメント。
- 養源寺** 光仲の国替えにより、岡山から鳥取へ。小説家尾崎翠(みどり)の墓がある。代表作の『第七官界彷徨』は今なお新斬さを失わない。
- 真教寺公園** 動物公園(無料)。鳥取大火後の火災復興土地区画整理事業に伴い、整備。
- 真教寺** 吉川経家の菩提寺。光仲の時代に現在地に。鳥取吉川遺徳顕彰会により毎年10月25日に追善法要。
- 吉田一陽堂** 光仲の国替えに伴い、岡山から鳥取へ。1632年創業の薬局。
- 薬研堀跡** 寺町から材木町にかけて築かれた堀。鳥取城から薬研堀までを武家地、薬研堀から袋川までを町人地と屋敷割。昭和4～7年の間に埋め立てられ消滅。現在その痕跡を残す。
- 袋川桜土手** 日露戦争の勝利と大正天皇御大典を記念して、土手の竹藪や柳を取り払い桜に植えかえた。
- 瀬川弥太郎の碑** 鳥取高農の学生時代、土手治いの桜の思い出を持つ瀬川弥太郎が鳥取大火後、匿名で桜を10年間送り続けた。総数800本。
- 佐渡ヶ嶽屋敷跡** 因州藩お抱えの棧(かけは)シ初五郎、四代佐渡ヶ嶽を襲名。「毎々花角力を興行せり」とある。
- まちパル鳥取** 一階は「鳥取市ふるさと物産館」。鳥取いなばの名産・特産品を紹介・販売。
- 鳥取温泉碑** 明治37年に湧出した。大正～昭和の初めに末広温泉・永楽温泉へ広がった。
- たくみ** 「鳥取たくみ工芸店」は昭和7年創業の日本で初めての民藝専門店。「たくみ割烹店」は「しゃぶしゃぶ」発祥の地。
- 鳥取民藝美術館** 鳥取民藝の生みの親・吉田璋也(名誉市民)がプロデュースした美術館。長年にわたって収集した日本各地の民芸品と海外の民芸品を展示(約5000点収蔵)。
- G ギャラリー** 開いていないこともありますが、のぞいてみると、地元作家との思ひ交流が生まれるかもしれません。

お問合せ先 「鳥取まちなかガイドの会」代表 内田 克彦  
E-mail ▶ tottori.machinaka.gaido@gmail.com

ガイドお申し込み先

E-mail ▶ tottori.machinaka.gaido@gmail.com

ネット申込みはこちら 「鳥取まちなかガイドの会」について

